

設計内容説明書(省エネルギー性)

断熱等性能等級用
RC造等用

建築物の名称:

確認項目	設計内容説明欄			設計内容 確認
	項	目	記載図書	
適用する基準	適用する基準	☐ 性能基準 ☐ 仕様基準		☐ 適 ☐ 不適
☐ 性能基準 による場合 ()地域	外皮平均熱貫流率	外皮平均熱貫流率UA (W／㎡・K)	☐ 計算書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	冷房期の平均日射熱取得率	冷房期の平均日射熱取得率 η AC ()		
☐ 仕様基準 による場合 ()地域	適用条件	開口部比率※ () ※区分(に)の仕様とする場合、記入は不要です。	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
	躯体の断熱性能等	☐ 熱貫流率の基準に適合 ☐ 断熱材の熱抵抗の基準に適合		
	開口部の断熱性能等	開口部比率の区分 ☐ 区分(い) ☐ 区分(ろ) ☐ 区分(は) ☐ 区分(に) ☐ 緩和措置有り ☐ 窓の断熱(2%緩和) ☐ 窓の日射(4%緩和)		
	躯体の断熱性能等	断熱材の仕様 屋根 () 天井 () 壁 () 床 外気に接する部分 () その他の部分 () 土間床等の外周部 外気に接する部分 () その他の部分 ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	
	開口部の断熱性能等	窓・ドア等の断熱性能 建具・ドア枠の材質・形状 建具形態 ガラスの種類・構成等 () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	
		窓・ドア等の日射遮蔽措置 方 位 ガラスの日射侵入率等 ひさし・軒・付属部材等 () () () () () () () () () () () ()	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 平面図 ☐ 矩計図 ☐	
結露防止対策	結露の発生防止対策	☐ 防湿層の設置(繊維系断熱材等の場合) ☐ 設置 ☐ 省略 ☐ 通気層の設置(断熱構造とする場合) ☐ 屋根 ☐ 有() ・防風層の設置() ☐ 省略 ☐ 外壁 ☐ 有() ・防風層の設置() ☐ 省略 ☐ 内断熱工法 ☐ 断熱材を構造躯体に全面密着等	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適
熱橋部対策	熱橋部の断熱補強対策	・ 構造熱橋部の断熱補強措置 断熱材の熱抵抗又は断熱材の種類と厚さ () 補強範囲(mm)	☐ 仕様書 ☐ 仕上表 ☐ 矩計図 ☐	☐ 適 ☐ 不適

注1) フラット35S(金利Bプラン)「省エネルギー性」に関する基準は、住宅性能表示制度の断熱等性能等級の等級4以上及び一次エネルギー消費量等級の等級4以上になります。本基準により申請する場合は、本書式に加え、一次エネルギー消費量等級用の設計内容説明書を提出ください。

注2) 太枠で囲われた欄は、設計者等が記入してください。なお、この欄に記載されている事項は、必要な範囲内で、個別の検査において変更することができます。

注3) 書式内の欄に記載事項が入らない場合は、別添用紙を用いることができます。この場合は、別添用紙に番号等を付し、該当する欄に当該番号欄を記載してください。